

弓削通信

新しい時代の新しい弓削町を語り合ひましょう

2000・2

発行者/平山和昭
〒794-2509愛媛県越智郡
弓削町土生318-2
電話・FAX/0897-77-3072

この度の選挙戦を ふりかえって

新しい時代に向けての弓削町長選挙もおわりました。内外から高い関心をもたれた選挙でした。今月号はプロセスと結果について、感じたこと、考えたことを中心に語り合ってみたいと思います。

平山 お疲れさまでした。

前田 おつかれさま。

平山 どうですか。初めて選挙戦なるものに、積極的に参加した感想は？

前田 新鮮でした。それ以上、大変でした。

平山 前田さんには、町外企業の社長業という大きな責任があり、結果的に業務に支障をきたしたのではと、心中大変責任を感じています。

前田 いやいや、引き受けた以上は物事をプラスに考えましょう。

我が社にとって、もし私に事故あるとき、一定期間のいでいく、いい訓練になりました。社員にとっても、私自身にとっても、です。

何より、自分が住んでいる町の将来がかかっている大事な選挙です。まして我が社の社員でもある平山さんが、志を持って取り組むのですから座視したんじや男がすたる。

平山 私は今回を含め、この十年間で、五回選挙に出馬しました。こんな男もそういないでしょう。(笑い)

無知蒙昧の馬鹿野郎といわれてもしかたない。内、四回は、ほぼ単独で行った。

選挙後の「しこり」というものが、この町の人の独立心をむしばんできたと思っただけです。

選挙にかんして「頼む、頼まれる」ということが、公約

当 1,421票	木下 良一 68 無現
705票	益田 順守 53 無新
678票	平山 和昭 57 無新
	(無効51票)

(平成12年2月6日執行)



新しい時代の新しい弓削町を語る会 会長 前田典也

前田 だれが、だれを支持しているかが分かってしまえば、すぐそこへ説得に行く。平山 説得の武器になるのが、先程の血縁、地縁、職縁など、しがらみのみ。当事者はつらいに決まっています。前田 そうですね。いろいろな場で語り合う機会がありました。一番、印象に残っているのはやはり、複雑に入り組んでいる人間関係のなかで、個々の自我がうめき声をあげている姿でしたね。

前田 私がいままでやってきたのは、私の戦術のせいだと思えます。人の思惑の影響をうけにくい。前田 でも、あれでは勝利出来ない。平山 出来ないというより運動に厚みがない。前田 やるからにはまず勝つこと。勝たねば始まらない。平山 それも分かっ

新しい弓削町 新しい方向



弓削通信 発行人 平山和昭

ています。でも私は、わかりにくいかも知れませんが、選挙に勝つことには、ふた通りの意味があると思っっているのです。ひとつは文字どおり選挙戦に勝ち、当選を果たす。

もう一つは、選挙戦には破れても、結果的に何時の日か誰かによって自分の公約が実現できれば、それを勝利と呼んでもいいのではないかと。

前田 わからないわけではないですが...

平山 当選に足りる票を集める行為そのものが、長いあいだ有権者の朗らかさを奪ってきたのなら、従来型選挙の方法をつかわずに当選を果たしてみたい。ずくとそう思っ

てやってきました。一度は果たせたから、可能性はある方法だという証明に

はなった(笑い) そのあとコテンパンだったけど(笑い) 前田 この度は従来型方法を採用したわけですが? 平山 何いつてんですか。あなたたちが私の方法では絶対勝てないと(大笑い) 平山 お陰さまで弓削町始まって以来のいい選挙戦だったと、たくさんの人から拍手をもらいました。前田 私はね、平山さんのやり方の意義がわからないわけじゃない。でも、できるからにはぜひ当選して、やりたいことをやってほしい。そのためには、駄目とわかっている方法にこだわるのでは協力できないと言っただけですよ。平山 ハイ、そうでした。私が、ただ出るだけだと思われ理由もそこにあると思っと思っています。何度出ても勝利できなければ、ただ出るだけだよね。前田 私もういろいろ大変な思いをしました。なんといつも「しこり」を残さないことが一番だとは感じましたね。

平山 今回、私が一番びっくりしたのは、大人に『心のみちしるべ』が失せかかっていることが、あちこちで露呈していたことです。前田 というところ? 平山 中央政府で小沢一郎とかがやっているでしょう。勝つためには、いや、自分たちの利益の為なら何でもあり。倫理よりも利益。

この町でも大切な地位にある大人の心が、それに毒されているとしか思えないことがありました。その人たちの論法は、勝たねば意味がない、勝たねば勝たねば... 前田 ... 平山 目に見える形で改革を果たすには、政治的な勝利は確かに必要です。でも、それが全てではない。そのことを、どうやったらわかっ

てもらえるのか。物理的に勝てないとの思いが即、精神的敗北感につながってばかりいたら、人類の今日はないですよ。前田 私はつくづく仕事人間すぎたと思いました。自分の住んでいる町のことをあまりにしらすすぎた。自分の住

(裏へつづく)

(表からつづく)

んでいる地域の隅から隅まで歩いてみて、いかに自分が、地域の人々の思いを肌身に知らなかったことか。選挙に関わって、そのことを知ったのは大きな収穫でした。

平山 「心のみちしるべ」が消えると目的を見失うんです。勝利は単に手段なのに。中傷とかもいろいろあります。平山陣営は運動員がみんな離れ前田も手を引いたとか、平山は百票しかないとか、実は平山は木下と手を組んでるとか。

もつとひどいのは、平山は途中降板し支持者を裏切れ、そうすれば票が、もう一人の候補者に流れ結果的に木下を倒せる。それを、わざわざ私に提言してきたんです。もう情けなくって。

放つて置くわけにはいかにいしねえ。しょうがない。木下陣営と、益田陣営の選挙事務所の前に乗り付けて、挑戦演説をやってしまった。

前田 あれはよかったです。平山 前田さんの演説がよかったですよ。

関係者が外に出てきて、ちやんと聞いてくれました。その点、感じよかったですね。

前田 結果は現職・一四二一票、益田氏・七〇五票、平山・六七八票、無効五一票。愛媛新聞には現職圧勝なんて書かれたけど、現場のニュ

アンスとはちよつと違う。平山 現職に対する批判票は、無効票は当然アンチ現職です。計一四三四票。投票率八七%。立派なもんです。現職は、だれに圧勝したんでしょうね。

選挙は、もちろん個々の候補者同士の勝ち負けですが、世論に対する勝ち負けでもあるのです。前田 この度の選挙では県知事を引き合いに出した候補者もいました。効果あったのでしょうか？

平山 ないとは言えません。が、加戸知事を応援しなかった現職が再選されたことによる、なにがしかの締め付けがこの結果によって、発生しはじめるかも知れませんね。次期知事選にむけ、あくまでも正当な口実がある形で。

虎の威を借りるのは、だから心寂しいものがありますねえ。平山 言いついでにいつときますけど、現職木下氏の選挙力に、議会議長以下、十四人中十一人の議員と、町内の各種団体の長らが連なって走っていたのは、本当に情け

七選町長にお願い

町民のみなさんにもお願い

行政マンにもお願い

なく、悲しい、馴れ合いの象徴でした。議長が理事者の後援会長なんて初めて知りました。後援会に入っていない議員は浦野、土井、前田の三氏。こうなると弓削町の議会は木下親分に、仕えていることになり。昨年、町長不信任案にハンコついた人もまじってたりして、ま、勇気と元気の弓削町ではありませんね。

まさか、癒着と現金の弓削町じゃないでしょうか？ 負け犬の遠吠えとわれようと、吠えないではおれん。

前田 票の分析は？ 平山 中年層と、若年層が保守的だったような気がします。高年齢層は、革新的。皮肉なことですが、この町の行く末がはつきり見えてます。

前田 とにもかくにも、おわかりました。今後はどうすればいいでしょう。平山 まず、新町長には、とりあえず、ご当選を寿ぎましょう。これからは、批判票の重みをしつかり受けとめ、現在、町民がもつとも望んでいるも

のの実現に向けて、確かな一歩を、目に見える形で踏み出していただきたい。そうすることが、すでにあなたの心にあるかもしれない。後継者への最大のものはなむけであり、むつかしい選択を迫られた有権者への最大の義務、恩返しであることを肝に銘じていただきたい。

ご自身が、この町で生涯を終えることを前提に、政策を実行していただきたい。選挙戦中に私たちが掲げた公約に投票した町民の願いをあなたの願いとしていただきたい。それがあなたと批判者との間の溝を埋めることになります。

町民一般に対してのお願いもあります。失敗や落選を恐れず、たくさんの方が議員に立候補し、馴れ合いの根を断ち切つてほしい。

「勇気と元氣」が、弓削町活性化の、みなもとです。子供たちに、「大人の勇気と元氣」を目のあたりに見せてやって欲しい。「志と気概は日本一」そんな子供たちに育てましょう！

中高年齢の方々、行政にどんな文句をつけていたたたきたい。泣く子と有権者には勝てないのが政治家です。行政マンにもお願いがあります。裸の王様に仕えるような家来になつては、一味同心で一揆を起こした先祖に申し訳ありません。

弓削町の文化は進取の気性の上に成り立っていることを思い出して欲しいです。前田 ところで弓削通信はどうなりますか？ 平山 毎月楽しみにしていると聞かれるとうれしいですねえ。やりがいがあります。しかし、この形も「もういいでしょう」の感もしています。

しばらく充電して、二一世紀にふさわしい形を探しましょう。なにかのときは臨時号を発行するとして、ちよつとお休み、です。前田 そうですか。寂しいですが、期待しています。平山 それでは、読者の皆さん、長い間ご声援本当にありがとうございます。発行、編集人ともに、心からお礼申し上げます。

第五回 因島自由大学

瀬戸内海のほぼ中央に浮かぶ島、因島に自由大学を創って四年。平成十二年の授業は、次の通りに決まりました。自由大学は、あくまでも自主独立であり、一人二〇〇〇円の授業料のみ、一人一人の熱意のみでなりたつ大学です。どこまでも自由であり、どこまでも高い理想を求めていく大学です。全国どなたでも(もちろん外国の方も)参加できる大学です。

日時 平成十二年六月十日(土) 午後二時~四時
場所 因島市土生町箱崎 因島市芸予文化情報センター
講師 遠藤順子氏 エッセイスト・作家・故遠藤周作夫人
演題 「二十一世紀への祈り」



遠藤 順子氏(えんどう・じゅんこ)
昭和二年、実業家岡田幸三郎の長女として東京に生まれる。慶応義塾大学仏文科卒。在学中に、作家・遠藤周作と出逢う。昭和三十年、結婚。翌年、長男龍之介を出産。著書に「夫の宿題」(PHP)がある。

申込先 因島自由大学事務局
因島市田熊町竹長 岡野恒二
電話 〇八四五二・二・九六七三

申込み用紙あります
弓削通信 77-3072

岡八代美

Ehime 人物図鑑

愛媛新聞社発行「えひめ雑誌」
2000年2月号
●(Ehime人物図鑑)に岡八代美さん登場。1936年生れ。弓削町中都出身。東京都渋谷区に、保育園「うさぎとかめ」と特養老人ホーム「つるとかめ」を同じ建物内に建設。

0才から100才の福祉施設として運営する。一体型は東京でもめずらしく、愛媛県にはない。
●(名選手辞典)には、中谷博さん。弓削高出身。生名中教諭。かつて全国高校総体やり投げで優勝。